

平成 30 年度 事業報告書

事業方針

コミュニティ財団『南信州基金』創設による、地域内で志金が循環する仕組みをつくる。
地域運営へ、自分で考え自分で実行できる人（市民）を育て、まちづくりへの新しい動きを起こしていく。

総括

『南信州基金』の設立については、財団法人を急いで設立するより、まずは組織が立ち上がったからの人件費や経費をどうするか、という点が先であるとし、市や国との提携事業を確保すること、実際の立ち上げに協力してくれる人の拡大などを中心に行った。

ムトス飯田推進委員会コーディネーター専門委員会委員として、無料相談日の対応を行った。NPO法人について知りたい、設立したいという相談が一番多かった。

こちらとしては、多くのNPO法人や市民団体が、日常的に資金不足や人材不足を抱えている様子が見えるので、現在運営中のNPO法人にも、日頃の活動の悩みなどを受け付け、その解消に努めたいと考えていたが、団体にそのことが伝わっていない。

市の担当はそれなりにチラシや資料の送付、希望する人へのアポイントなどを行っているが、市がそのような支援をしているということも、既存団体に認識されていないように感じる。

事業報告

【市民活動支援】

・ムトスコordinエーター専門委員会委員として、月1回の無料相談日の対応、市内の活動団体訪問などを行い、それぞれの団体の抱える悩みについて相談を受けたほか、提案も行った。

だんだんと相談希望者が減り、第3火曜日に固定するより、当該団体の都合に合わせて出向く形に4月から変わった。

・南信州基金立ち上げのための準備期間として、組織固めと他団体への協力依頼などを行った。

【特定非営利活動法人設立・運営支援】

・昨年に続き、NPOに関するセミナーの一環として、法人向けの『会計・税務相談会』を実施、全NPO法人へ郵送で案内を行ったが、希望団体は一団体にとどまった。

・長野県県民協働推進課主催の『NPO法人設立講座』の飯田会場・伊那会場の講師を務めた。

【ネットワークの形成】

南信州基金の立ち上げのため、これまで当法人の活動を支援してくれている団体・個人に、趣旨の説明や協力依頼を行った。

【人材育成】

月に1度のざっくばらんなまちづくりのアイデアを出し合う会『みなじん』の中核として、話題提供や会場の提供を行った。

【まちの活性化につながる事業】

飯田市のふるさと納税『飯田市20地区応援隊』があまり活用されていないことから、寄付に関する勉強会やその資金を使って何をするか、などを学べる機会をつくることを飯田市に提案した。